

熊日 読者のひろば

RS.7.12

野球を続けた
3年間は宝物

高橋優花 11 中学 3 年生

(産山村)

阿蘇都市中体連野球大
会で、私たちが産山学園・

高森中合同チームは決勝

に進出することができま

した。決勝戦では1回に

いきなり4点を取られ、

必死に1点1点返してい

きましたが、再び得点

れ、そのまま負けしま

いました。

整列して審判の「グー

ムセツト」の音が響き

たると、視界がぼやけて

きました。私は「涙は絶

対に流さない。最後は突

顔で終わる」と決めてい

たので、泣くのまぐと

我慢しました。

でも、顧問の先生から

「男子の中で野球をして

きて、きつかったことも

あると思う。根性がなけ

れば3年間続けることは

できない。もっと自分に

自信を持っていい」と言

われた瞬間、我慢して

た涙が1気にあふれてき

ました。

いつも日常の中にあっ

た野球が終わってしまっ

たど考えると、心にはか

んど穴があいたような感

じがあります。6年生で野

球部に入った時は、つい

ていけるか本当に心配

ったのに、3年間やり

ることができ、たぐさん

の大切な思い出がで

きました。私にとっては

大切な宝物です。

ここまで野球を続ける

ことができたのは、時に

は厳しく熱のこもった先

生方の指導と、いつも近

くで支えてくれた家族

そして一緒に野球をする

仲間がいてくれたおかげ

です。本当にありがとうございます。

ございました。